

優先度を用いた複数タスク下における意思決定 -優先度の部分設計による環境への適応性の向上-

上林 拓馬 (Takuma Kambayashi)

February 2020

- 重要性の評価を単調増加 (減少) 以外で表現できないために環境に適応できないという問題点に着目
- タスクの達成状況を基に優先度の部分設計を行うことで単調増加 (減少) 以外でも重要性の評価が可能
- タスクの達成状況を表す充足度を導入した優先度の設計により, 環境への適応性が向上

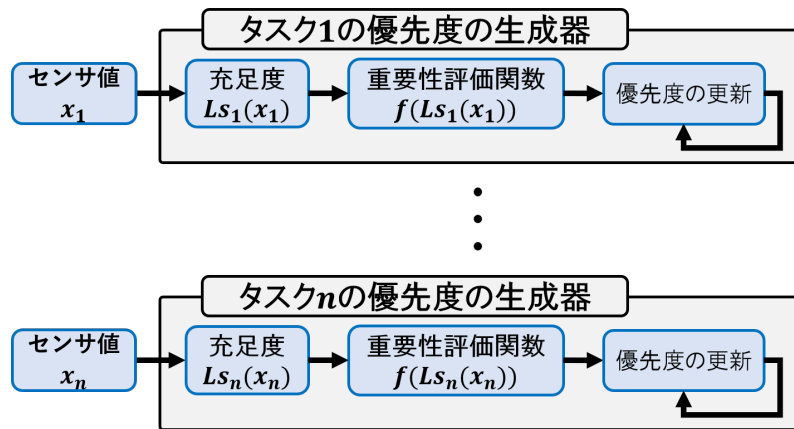
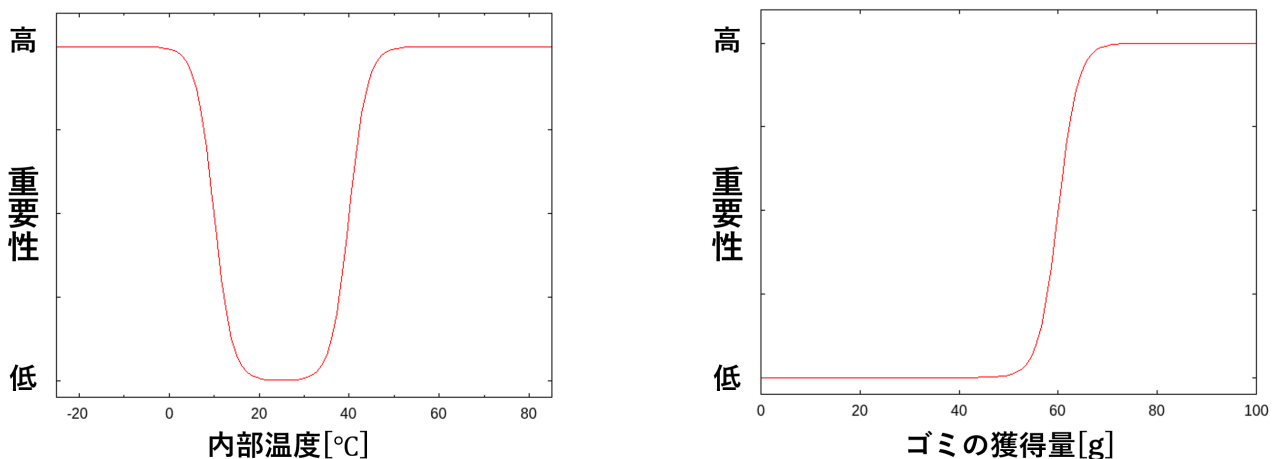


図1 充足度を導入した優先度の概要図



(a) 内部温度管理タスクの優先度による内部温度と重要性の関係 (b) ゴミ捨てタスクの優先度によるゴミの獲得量と重要性の関係

図2 提案手法による優先度の具体例